

■：「復興税」は破壊の現状を元に戻すだけではなく、創造的な復興を成しとげるため。義援金とか寄付

とか日本人はもろん世界中からおカネが寄せられ、つくづく人間の優しさに触れ感動させられました。やっとこの辺りから政治の出番なのでしよう。世界に誇る経済力をもって再建に取り組む。混乱時に略奪ひとつ起こさない国民性、これからが真の力がためされます。

■：自然の破壊力。地震に津波のダブルパンチは想像を絶する被害をもたらした。しかし原発の放射性物質による汚染は人為的な原因が。「想定外」では済まされません。これからは政治家の間で流行語になりそう。何でも政治的怠慢やミスをこの言葉でいつのころでは。こちらも地方統一選も含め選挙では「想定外」の、政治家にふさわしくない、例えば小沢某などは選んではいけませんね。

■：反原発運動が起こるのでは。すでに世界のあちこちで「原発は不用」という声が高まっています。日本人が使用する電力の約30%は原発

が頼り。まあ、出来るだけ家庭でも節電を心がけねば。ただ夜道を歩く足元ぐらいいは明るくして、繁華街の宣伝広告用の電気はとことん消すか減らしてしまおう。

■：…といっても人間にとって無駄とか遊びをゼロにしてしまおうと一体どうなるのでしょうか。何かギズギスした人間関係で、息が詰まる思いにとらわれかねませんね。いつもしかめっ面（つら）、冗談のひとつも言えない、面白味を欠く人間が最近増えているようで…。気持ちにゆとりがない。心が狭まいタイプの人間が家庭や職場には必ずいます。「イヤな奴」の大安売り。

■：災害時のテレビの速報性はありがたいもので、日ごろテレビを避けている人たちでもこんな時はスイッチを入れます。しかしくどいのはあきれさせられました。他にも知りたい、知らせたいニュースがあるだろうに、と思いましたが。放送記者総出でカバーしているか、担当者以外は遊んでいたのか。TV屋もこれを機会に取材体制や番組編成を再考してみるべきでしょう。

■：テレビ屋批判の最近の秀逸作は「芸足りず、笑いも拍手も目前で

す」(長崎・まりこパル毎日新聞)。この手の人間がタレントあつたいて、ついに調子に乗って政治家に。先の地方統一選挙でも軽薄才子が続出、世界各国、首都は1つなのに2つも作れ、とフキ回る。茶番劇の揚げ句投票率は下る一方。

■：縮(ちぢ)み思考、といいます。恐怖や寒さなどで心身がすぐむ。考え方や行動までちぢんでしまふ。その逆は、なにくそとばかり勇気を振りしぼる。一種の精神論ですが、知り合いの在日留學生のほとんどは日本人の秘めた「がんばリズム」に感心しています。逆境に強い人間、今日本全体のためされているのかも知れません。

■：経済の縮小は避けがたいかも知れませんが。失業者も当分の間、職探しで大変な事だと思えます。しかし最近、ちびっ子たちの笑顔が本当にかわいくなりました。前にフィリピン・マニラ空港に降り立った時、ビルを一步出た所に多勢の子どもたちがニコニコしながらすわり込んでいます。小銭欲しさでしょうか、無邪気な笑顔、フィリピノ・スマイルといわれている。日本も今こそがお互い笑顔を大切に作る時なのでしょう。

月刊公論 MONTHLY
KORON

6月号 第44巻6号

平成23年6月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料92円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
発行所 株式会社社界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611代、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。